

若者と外国人を応援

教育格差解消の事業視察

知
愛
党
議
員

公明党愛知県議団(小島文幸^{ひさゆき}団長)はこのほど、今年7月に県が始めた「若者・外国人未来応援事業」の課題を知るため、会場の一つである県生涯学習推進センター(名古屋市)を視察し担当者から話を聞いた。同事業は文部科学省の新規事業「地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン」として採択されている。

事業の対象は高校中退者や日本語の学習が必要な外国人。高卒認定試験合格な

どに向けた学習支援のほか、関係機関と連携した相談・助言を県内3カ所で無料で行い、就労や社会的自立を後押しする。このうち同センターでは生活相談、学習支援、外国人が対象の日本語学習をそれぞれ週1回行っている。

県の担当者は、参加登録人数や、学習支援を行うスタッフの体制について説明。利用者の半数以上が市外から来ていることに触れ「交通費や移動時間などが負担になっ

ていく」と話した。視察後、小島団長は「子どもたちがさまざまな方法で学び直しができるよう、学習環境の整備を進めていく」と語っていた。



見
意
交
わ
す
と
担
当
者
を
知
愛
党
議
員
と
知
愛
党
議
員
6
人
側